

【Problem List】

#1 下顎の腫脹

造影 CT で拡大した下顎腺の増強

対称的な腫脹、硬い隆起、痛みを伴う。ファイバースコープ内視鏡で喉頭異常所見なし。

歯周病

歯肉炎と歯周炎を両側の第 3 大臼歯（下顎）で見られる。一部嵌入していた。

鼻中隔の変位

軽度鼻中隔の変異と、わずかな浮腫状の鼻甲介

#2 体重減少（3 か月で 10kg）

食事の際の不快感のためと本人記述しているが、約 3 か月で 10kg の体重減少は他の原因検索も考えたい。月経は正常に保たれており、発熱・夜間汗などはない。入院時電解質などは正常。

#3 ツベクルリン反応陽性

入院の 6 か月前に判明。彼女はモロッコの都市部の出身で、22 か月前にアメリカに移住。この時点での胸部 Xp は正常。BCG ワクチンを受けていたのかを本人は覚えていなかった。この時点で、isoniazid の予防投与を勧められたが彼女は拒否していた。各種の培養では陰性。

（参考：モロッコは結核対策の国の取り込みが近年国際的に表彰されていますが、この賞は「過去 4 年間で結核対策頑張った国」に贈られる賞らしく、20 年以上前の結核対策は不明でした）

#4 抗核抗体陽性

抗核抗体は 1:160 で陽性、speckled パターン。

抗 SS-A, 抗 SS-B, 抗 dsDNA は陰性、リウマトイド因子も陰性。

C3 81mg/dl(正常 86-184), C4 11mg/dl(正常 20-58)と低補体血症。

生検の結果、悪性細胞なく、フローサイトメトリーで正常 B 細胞、T 細胞が見られる。

（参考：HEp 細胞を用いた蛍光抗体法で測定するのが一般的。精査を要する場合は、ELISA 法で特異抗原に対して DNA、Sm、SS-A など調べていくのが通常のやり方。一般的に speckled pattern は治療により陰性化・低下しにくい。Speckled pattern を示すものとして有名なものは、SLE が抗 Sm 抗体、SjS が抗 SS-A 抗体と抗 SS-B 抗体、MCTD が抗 U1-RNP 抗体、PM/DM が抗 Jo-1 抗体など）